



# CIR/SEA 中間研修 ～ JET プログラム参加者への研修を行っています～

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部研修・カウンセリング課

当課では JET プログラム参加者を対象に各種研修を実施しておりますが、今回は CIR<sup>\*1</sup>、SEA<sup>\*2</sup> の中間研修について紹介します。いずれも新型コロナウイルス感染症の影響によりここ数年間はオンラインでの開催となっておりましたが、2022 年度は久しぶりに対面での開催が実現しました。

※ 1 国際交流員 (Coordinator for International Relations)

※ 2 スポーツ国際交流員 (Sports Exchange Advisor)

## CIR 中間研修

CIR は主に地方公共団体の国際交流担当部局などに配属され、国際交流活動に従事しております。本研修はそんな CIR の方々へ実践的な日々の仕事に役立つスキルを提供することを目的としており、プロの講師の方々や先輩 CIR による講義が行われます (1～3 年目の CIR は必須参加)。

コロナ禍前は約 500 名の CIR および担当者が一堂に会して実施していましたが、2022 年度は新型コロナウイルス感染予防対策 (コロナ対策) のため、パシフィコ横浜と滋賀県にある全国市町村国際文化研修所 (JIAM) の 2 会場に分かれての実施となりました。

今回は 2022 年 10 月 26 日から 28 日の 3 日間にパシフィコ横浜で実施した様子をご紹介します。

パシフィコ横浜会場では主に英語圏 (欧米) および一部の少数招致国の参加者を対象とし、全国から CIR お



開会式の様子。対面での開催に参加者からも活気が感じられます

よびその担当者、計 273 名が集いました。

コロナ禍前の本研修では参加者は初日以外、自由に講座を選択し受講していましたが、2022 年度はコロナ対策のため、全員同じ講座に参加していただきました。長らくオンライン形式での実施だったため、今回は、講義形式の分科会の中でも、CIR の職務をテーマにしたディスカッションや、講演や事例発表を行っていただいた先輩 CIR への質疑応答時間を設け、参加者がより積極的に交流できるような機会を提供しました。



少人数のグループに分かれてのグループディスカッションの様子

そのほか、参加者の翻訳通訳に関する技術の向上のため、プロの翻訳者・通訳者による講座のほか、現役 CIR による複数の事例発表も実施しました。



現役 JET プログラム参加者による事例発表の様子

3 年ぶりの対面研修だったため、参加者にとっても、多くの交流機会を得て、新しい発見やネットワーク作りも行うことができた非常に充実した研修となりました。

## SEA 中間研修

SEAは、主に地方公共団体に配属され、特定種目のスポーツ専門家として、スポーツトレーニング方法やスポーツ関連事業の立案の補助などを通じて、国際交流活動に従事します。全国の任用数は近年10名前後と、ALT<sup>※3</sup>やCIRに比べ少数となっております。

本研修はそんなSEAの方々へ仕事や生活に役立つ知識、技術、情報などを提供し、以降の活動をより円滑なものとする、また、日本人担当者が地域におけるスポーツ指導を通じた国際交流活動についてさらに理解を深め、SEAのさらなる活躍方法を模索することを目的に実施しております。

前述のとおり、ここ数年オンラインでの開催となった本研修ですが、2022年度は11月17日、18日の2日間、3年ぶりに対面での開催が実現しました。今回は、全国から8名のSEAと5名の日本人担当者が東京の「BumB 東京スポーツ文化館」に集い、活発な意見交換や交流が行われました。

初日には異文化コミュニケーションの講義のほか、トレーニング技術に関する情報交換会も行い、参加者にとっても異なるスポーツへの見識を深める良い機会となりました。また、初対面の方も多量中、各参加者が主体的にグループワークに取り組み、国籍の垣根を越えてコミュニケーションを図る様子がとても印象的でした。



講義「異文化コミュニケーション」でのグループワークの様子

2日目の最初のプログラムでは、SEAによる事例発表を行いました。先進的な取り組みや指導時の映像なども交えた素晴らしい発表で、他の参加者にとっても大きな刺激となったと思います。その後、トラブルの対処方法についてSEAと日本人担当者が合同で解決策を模索するグループディスカッションなどを行い、最後のプログラムでは書道を体験しました。コロナ禍で日本文化に

触れる機会も少なくなっていた中で、講師の流暢な英語と懇切丁寧な指導も相まって、参加者が終始楽しんで取り組む様子が窺えました。



グループディスカッションの様子。活発な議論が交わされています



書道の様子。最後には記念色紙のプレゼントもありました

非常に短期間の研修でしたが、単なる知識の向上にとどまらず、他団体に活躍するSEAとの交流を通じて、相乗的にモチベーションの向上も図ることができた非常に実りあるものとなりました。

※3 外国語指導助手 (Assistant Language Teacher)

## 最後に

CIRおよびSEAは、任用していただいている団体では、さまざまな事業で活躍されているものの、彼らに対する認知度が未だ低い状況もあるようです。ここ数年はコロナ禍による厳しい状況が続いていますが、クリアでは、引き続き認知度の向上、そしてより多くの自治体で活躍していただくため、各種研修をはじめとした取り組みを行ってまいります。CIRおよびSEAの任用を検討されている団体は、是非下記までお問い合わせください。

【連絡先】

(一財)自治体国際化協会 JETプログラム事業部  
Tel: 03-5213-1733